

「親子で体験！秋の自然を感じよう！」

- 実施日時 令和5年11月23日(木・祝)
13時00分～15時30分
- 実施方法 対面開催
場所：都立木場公園



□実施内容

「親子で体験！秋の自然を感じよう！」

(講師) NPO 法人マザーツリー自然学校理事長 中安 敬子氏

都市公園を活用して、自然を体と心で感じる体験型環境教育事業を企画運営。平成22年にNPO法人マザーツリー自然学校を設立し、子育て支援施設や環境学習施設、公園と協働して、自然とふれあいながら遊ぶプログラムをはじめ、自然と子どもをつなぐ活動を展開している。



1. 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局から受講上の注意、全体スケジュール等の説明

2. 講義・体験

①講義

○東京都が取り組む生物多様性

スライドを使い、「生物多様性とはなにか」をテーマに、講義を行った。

生物多様性とは地球上にいる3000万種類以上の生きものと、絶妙なバランスを保っているつながりのこと。として、私たちの暮らしを支える生物多様性について小学生の参加者にもわかりやすく例を挙げて紹介した。

木場公園での自然観察やワークショップを通じて身近にどんな自然があるか観察し、触れてみて、自然を知ることから初め、「生物多様性」「自然環境」を守っていくために私たちにできることは何か考えてみましょうと呼びかけた。



②公園内の自然観察

○どんぐり拾い競争（どんぐり山）

公園内のクヌギ・コナラ・シラカシ・スダジイ・マテバシイが多くみられる一角で、どんぐりを拾うゲームを行った。



地面にはたくさんのどんぐりが落ちており 15 分ほどで十分な量を採取することができた。

中にはすでに芽吹いているものがあり、少し掘り起こしてどんぐりから茎をのばしている様子も観察することができた。

拾ったどんぐりを集めて、草木染めの染料に利用する。



○「もりのたからものさがし」

自然観察のポイントを記したシートをつかい、「においのするもの」「あなあきのはっぱ」「きのこ」「たね」「みんなにみてもらいたいもの」などの項目に沿って植物を採取したりスマートフォンで写真を撮ったりして観察を行った。



持ち寄った植物や写真について、「虫食いの葉っぱは誰のたからもの？」など子供たちに問いかけたり、葉っぱの落ち方の特性や、甘い匂いのする木の葉（桂の木）を観察したりすることで、自然と生物のつながりやすぐそばにある自然の恵みについて感じることができると紹介した。



（休憩・移動）

③ワークショップ

○草木染め体験

公園内のどんぐり山で採取したどんぐりを使って手拭いを染める草木染め体験を行った。

どんぐりを大なべで茹でると濃い紅茶のような色ができ、この抽出液を利用して染色していく。



あらかじめ下処理を施した真っ白な手拭いに輪ゴムを使って模様をつける。縛ったところに模様が出るため、どのような縛り方でどんな模様ができるかなど、講師が手順を教えながら参加者それぞれが作業していく。



どんぐりを茹でて色を抽出した鍋に、輪ゴムで縛った手拭いをいれて更に 10 分ほど煮て色を付ける。



○窯に火をくべる体験

手拭いに色を付ける時間を利用して、窯の火に枝をくべる体験を行った。火をくべる材料に、公園内で剪定した木の伐採木を小さく切ったものを利用して資源が循環されることを紹介した。



大なべから取り出したのち、色どめ液に 15 分ほど浸し、軽く水洗いをして輪ゴムを外すときれいな浅黄色に染まり模様もしっかり浮き出た。できあがった手拭いを机に広げて、参加者同士でみくらべる。



どんぐり以外でも季節の植物を使うことで、いろいろな色を作ることができる。季節ごとにどんな植物が身近にあるかを感じることができる。

○おいしいどんぐりの紹介

自然観察で拾ったどんぐりの中に、おいしく食べられるどんぐり「スタジイの実」が多く参加者全員で試食を行った。

初めて口にする参加者が多く、あくがなくかすかに甘い味で大変好評であった。驚きと、自然の恵みを身近に感じることもできる体験となった。



質疑・応答

Q：スダジイはどのように見分ければいいですか？

A：堅い皮に覆われていて、身のお椀のような部分が平べったいかたちになっている。

Q：草木染めはおうちでもできますか？

A：いろいろな植物でできる。同じ植物でも季節によって出る色が違うので、試してみしてほしい。

昔の人たちは、自然のものを使って生活をしていたので、自然のサイクルを感じることができる。

閉講挨拶、アンケート記入、終了